

画も策定されているが、今後、各森林所有者または受託者は、町の森林整備計画をマスタープランとして計画を策定し、森林施業に努めることとなる。

人材育成面での各種研修受講者は、道の段階では少数にとどまっている。現状、本町ではどのようになっているか、今後の施業にあたって問題点などはないのか。

また、林地開発にあたり、法の規制はあるが、問題点も多い状況にある。国や道、振興局等に働きかける必要があると思うが、考えを伺う。

高薄町長

本町の森林整備計画は昨年度に変更しているが、今後は、専門知識・技術や実務経験などの資質を有するフォレストラーなどの人材が必要となる。今年度、准フォレストラーの研修に職員1名を受講させる予定でいる。

適正な森林整備の推進をはかるうえで、専門職

の採用も検討していきたいと考えている。

林地開発については、町有林、民有林を問わず、町として注視しなければならぬ。今後も情報を得ながら対応していきたい。

**家族葬
専用斎場等の
必要性は**

原 紀夫議員

本町も近年々高齢化が進み、増加の一途をたどっている。高齢化や核家族化により、近年の葬儀も様変わりを見せられている。葬儀も家族葬や近親者のみにより行われる方法も多く、新間の死亡広告等でも終了後の報告が非常に多くなってきたとあり、本町も同様の傾向がみられる。

他町村をみても葬儀社が家族葬向けに施設を建設したり、既存施設を家族葬向けに改修するなど、町外施設への流出を防ぐ手立てを行っている状況に

ある。

本町もこれら施設の必要性を感じることがある。また、対策を講じる考えはないか伺う。

高薄町長

現在、家族葬等に対応する公共施設として、御影の世代間交流センターを利用できるようになり、平成22・23年で葬儀による利用は3件あった。

町民から施設の必要性について要望があれば、町内業者等と相談していきたい。

**中の
委員会
閉会
活動**

- 総務文教常任委員会**
学校教育の現状について
その他所管に関する事項について
- 産業厚生常任委員会**
一般廃棄物処理基本計画について
農作物の生育状況について
その他所管に関する事項について
- 議会運営委員会**
議会の運営とその諸規定について
議長の諮問に関する事項について

**委員会
レポート**

委員会活動として、閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、委員会は第3回定例会において、次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会 調査報告

防災の現状と課題について

【防災の現状】

本町では、災害対策基本法に基づき、条例により防災会議を設置し、地域防災計画を昭和37年に策定しているが、昭和60年以降、計画の大きな見直しはされていない。昨年の東日本大震災の発生を受け、全面的な見直しを行う必要があるため、現在、準備を進めている。

避難所で耐震基準を満たしている施設は約半分程度にとどまり、公共施設以外の施設を代替施設とするか、防災計画の見直しの中で検討が行われる。災害用備蓄品については、アルファ米を平成27年度には2500食に、非常用毛布も本年度末には500枚を備蓄する計画となっている。

【今後の取り組み】
地域防災の核となるのは町内会であり、そのためにも、町内会単



委員会では、保管されている災害用備蓄品の確認と避難所を視察。